

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこり(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2025年10月17日		～	2025年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2025年10月17日		～	2025年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室での個別レッスンと、プレイルームでの集団レッスンを組み合わせて支援している。また、ニーズに合わせて個別レッスンのみの枠も設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内や個室は掲示などを最低限にし、刺激が少なく集中しやすい環境を整えている。 ・約3時間の枠の中では、お友達と一緒に活動する時間と、個室での個別レッスンの時間を設け、個別支援計画に沿った支援を行っている。 ・個室があることで、体調や気持ちが整わないお子様、クールダウンなどに使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で時間割を確認できるよう環境を設定し、自主的に次の行動に移すことができるようにする。 ・指導員の介入を適切にし、その子自身や子ども同士で物事を進めていく力をつける。
2	児童発達支援と放課後等デイサービス併設の多機能型施設のため、就学後も変わらない環境で、継続した支援を受けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・変化の大きい就学のタイミングで、環境を変えることなく安心してご通所いただけるようにしている。 ・一度にご通所される人数は5名程度のため、集団が苦手なお子様でも過ごしやすい環境となっている。また、少人数のため、目が届きやすく手厚い支援ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンセル待ちなどで継続利用が難しい場合は、利用者のご希望を伺い、情報収集や他事業所へつなぐなどフォローできる体制を整えていく。
3	少人数制で個々に寄り添った支援をしています。	職員間での情報共有をケア記録として残し、次回の指導員への申し送りを徹底しています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラムなどの未実施。	保護者会や家族支援プログラムなどの未企画。	保護者様同士の交流の場を設けて、気軽に参加できるようなプログラムを提供していく。
2			
3			